

消化器治療に理解深める

松波総合病院で市民講座

笠松町田代の松波総合病院は市民公開講座を同病院で開き、約100人が消化器系の病気に関する最新の



ウイルス性肝炎の最新の治療法などを紹介した市民公開講座＝笠松町田代、松波総合病院

治療法などへの理解を深めた。医療への関心を高め、健康管理に役立ててもらおうと毎年実施している。同病院の杉原潤一消化器

病センター長が、内科の視点でB型、C型肝炎の特徴や治療法などを説明。インターフェロン治療に代わり複数の飲み薬を併用した治療が進化している」と紹介

し「肝硬変や肝臓がんのリスクを減らすため、検査による早期発見を」と語った。木村真樹外科部長は消化器系の手術と術後の経過に関して説明した。(亀山大樹)